



MEMBER & EVENT

〈堀川まちづくりの会〉会員・イベント紹介 2019

黒川地区

随時
黒川観察会 場所/ 稚児宮人遺構上流
 団体/ 北区役所地域力推進室
 (●黒川ドリーム会等、◎御用水跡街園愛護会)
 TEL/ 052-917-6432

四問道地区

2019年11月9日(土)・10日(日)
円頓寺秋の祭り2019
 場所/ 円頓寺商店街
 団体/ ●円頓寺商店街振興組合
 URL/ http://endoji-paris.net/

その他

2019年9月～2020年3月(毎月第3土曜日)
定例街歩き
 場所/ 未定
 団体/ ●堀川文化探索隊
 URL/ http://www.arm-p.co.jp/horikawa-bunka/
 TEL:090-7604-5311

2019年9月23日・26日・28日
 10月2日・4日・6日・12日 いずれも9:50～
堀川・黒川 ぶらり水辺さんぽ
 場所/ 上飯田駅1番出口
 団体/ ●堀川文化探索隊
 歩行距離4km 歩行時間2.5時間 詳しくは「7A201A 飯島」で検索

2019年10月27日(日) 9:30～12:00
第24回堀川文化歩こう会
「飯田街道界隈を歩く」
 場所/ 中区役所出発 主催/ 中区役所地域力推進室
 企画/ ●堀川文化を伝える会
 TEL/ 052-265-2223

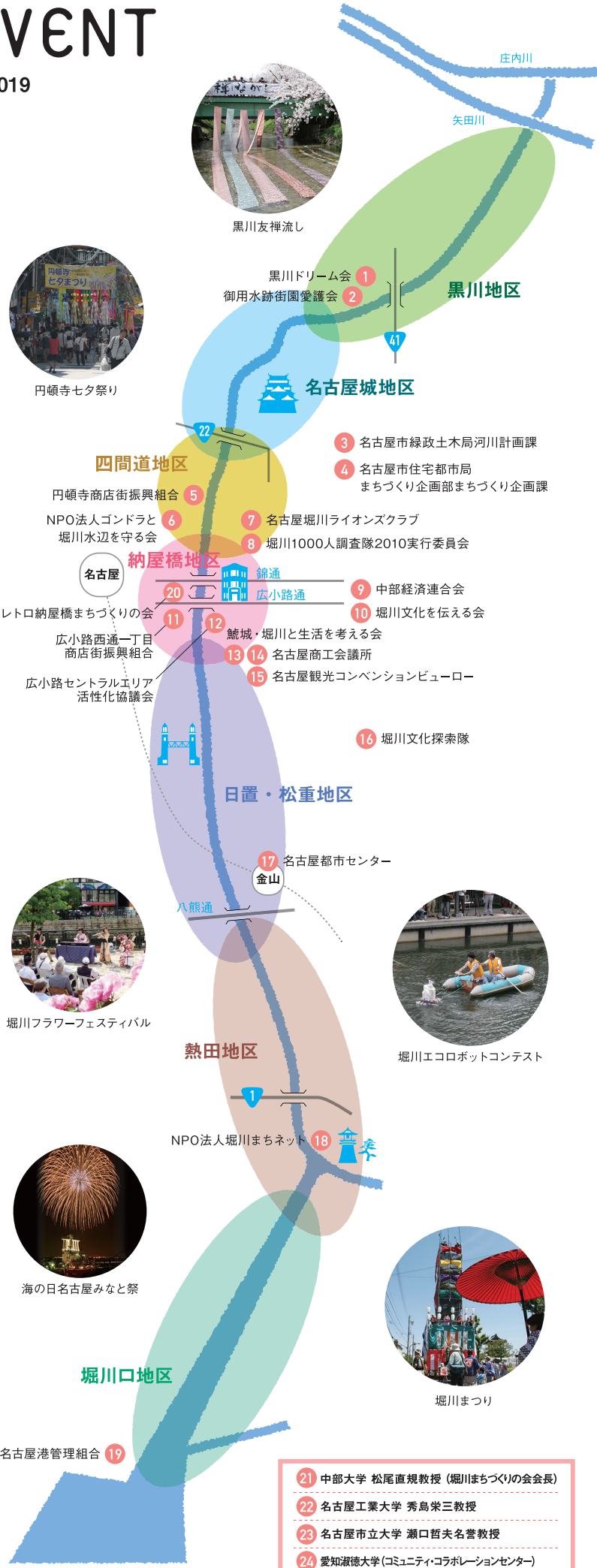
2019年11月17日(日) 13:30～15:00
第44回堀川文化講座
「怪談としての乱歩文学を斬る～名古屋の都市伝説を中心に～」
 場所/ 中区役所6階大会議室 主催/ 中区役所地域力推進室
 団体/ ●堀川文化を伝える会
 TEL/ 052-265-2223

2019年11月2日(土)
第8回 鯉城・堀川清掃大作戦
 場所/ 堀川9拠点、新堀川12拠点
 団体/ ●鯉城・堀川と生活を考える会
 TEL:080-5133-8670

2019年9月21日(土)
堀川一斉大そうじ
 場所/ 北区(北清水親水広場) 10:00～
 中区(納屋橋ゆめ広場) 10:00～
 熱田区(宮の渡し公園) 13:00～
 団体/ ●NPO法人堀川まちネット
 TEL:052-682-5008



堀川まちづくりの会 広報イベント
 ◆2019年8月20日(火) (イオンモール熱田)
 ◆2019年10月19日(土) (東山動物園) (予定)
 ◆2020年2月4日(火)～9日(日) (市民ギャラリー栄)
 ◆2020年2月26日(木)～3月9日(月) (名古屋都市センター)



納屋橋地区

2019年8月25日(日)
第15回堀川エコロボットコンテスト
 場所/ 納屋橋周辺
 団体/ 堀川エコロボットコンテスト事務局
 (●名古屋堀川ライオンズクラブ、◎名古屋工業大学)
 TEL/ 052-222-2686

2019年9月11日(水) 17:00～
第49回レトロ納屋橋まちづくりの会
 場所/ 堀川ギャラリー
 団体/ ●レトロ納屋橋まちづくりの会



2019年9月28日(土)・29日(日) / 10月26日(土)・27日(日) /
 11月23日(土)・24日(日) いずれも11:00～16:00
ゴンドラ体験乗船会
 場所/ 納屋橋船着き場
 団体/ ●NPO法人ゴンドラと堀川水辺を守る会
 TEL/ 080-1394-9733
 URL/ http://horikawa-gondola.com/
 当日の予約は電話にてお願いします

2019年10月25日(金)・26日(土)
堀川ウォーターマジックフェスティバル
 場所/ 納屋橋周辺
 団体/ 堀川ウォーターマジックフェスティバル実行委員会
 実行委員会 (●◎◎◎◎等)
 URL/ http://horikawa-wmf.com/

2019年9月12日(木) / 10月17日(木) / 12月12日(木)
 2020年1月9日(木) / 2月13日(木) / 3月12日(木)
美化活動
 場所/ 納屋橋周辺
 団体/ ●鯉城・堀川と生活を考える会
 TEL:080-5133-8670

日置・松重地区

2019年9月28日(土) 13:30～
第25回調査隊報告会
 2019年2月29日(土) 13:30～
第26回調査隊報告会
 場所/ 名古屋都市センター11階
 団体/ ●堀川1000人調査隊2010実行委員会
 TEL/ 052-222-2686
 URL/ http://www.horikawa1000n.jp/

2019年8月22日(木) / 10月17日(木) / 12月19日(木)
 2020年1月(未定) いずれも16:00～
クリーン堀川定例会
 場所/ 名古屋都市センター13階
 団体/ ●NPO法人堀川まちネット
 TEL/ 052-682-5008

熱田地区

2019年11月23日(土)・24日(日)
東海道七里の渡し船旅学習会
 場所/ 熱田「宮の渡し」～桑名「七里の渡し」
 団体/ ●NPO法人堀川まちネット
 TEL/ 052-682-5008
 問合せ/ sitirinowatasi-funatabi@horikawamachi.net

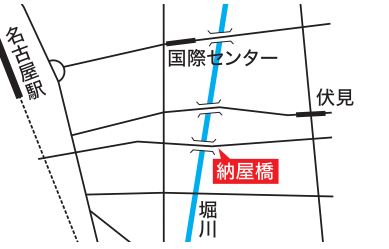
- 21 中部大学 松尾直規教授 (堀川まちづくりの会会長)
- 22 名古屋工業大学 秀島栄三教授
- 23 名古屋市立大学 瀬口哲夫名誉教授
- 24 愛知淑徳大学(コミュニケーションセンター)

WAKARIHO

堀川まちづくりの会 機関誌「ワカリホ」vol.10

表紙写真 堀川ウォーターマジックフェスティバル

納屋橋を拠点に、堀川の岸も川面も楽しめるお祭りとして、毎年秋に開催されている「堀川ウォーターマジックフェスティバル」。今年は、10月25日と26日に開催されます。堀川に浮かぶクルーズ船に渡舟で乗り、ビールや音楽を楽しむ「船上バー」や通称サップと呼ばれるハワイ発祥のスタンドアップパドルボードによる「リバーツーリング」など、大人が楽しめるイベントが盛りだくさん！あわせて開催する、昼間とひと味違ったナイトマーケットが魅力的な「なやばし夜イチ」(25日開催)や飲食や雑貨ブースが並ぶ「なないろマーケット」(26日開催)、本場ベネツィアからやってきた「ゴンドラ体験乗船会」(26,27日開催)など、様々なかたちで堀川を楽しむことができます。また、親水テラスで飲食を楽しむイベントやライトアップの社会実験も同日開催。堀川を満喫し、普段と違った堀川の姿を楽しんでみてはいかがでしょうか。



【堀川に行ってみよう！】
愛知淑徳大学 学生が「堀川まつり」をレポート！

【ほりかわこぼなし】
大正モダンが輝く納屋橋

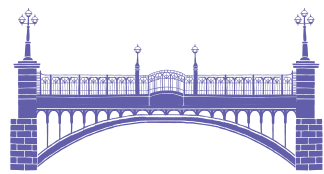
堀川まちづくりの会 公式サイト horimachi.jp

堀川まちづくりの会 活動日記ブログ horimachi.blog.fc2.com

堀川まちづくりの会 フェイスブック www.facebook.com/horimachi

堀川の今、そして未来、歴史など、堀川のイロイロや、アレコレなど、「ともかく堀川を知っておきたい」という方は、一度アクセスしてみてください。

堀川まちづくりの会 | 検索



堀川に行ってみよう！

愛知淑徳大学 学生レポート /

「古き良き風物詩を子どもたちに伝えたい」との願いを込めた素敵なお祭りに出会えました。

千年の昔に起源をもつ、旧熱田祭りの「大山」と明治の終わり頃に、大山に替わるものとして登場した「まきわら船」。長い歴史の中で、その姿を変えていった祭りの象徴が、令和元年となった今、堀川まつりの中で、それぞれの勇姿を見せています。そこで、今年で30周年を迎える『堀川まつり』について取材してみました。



01



03



04



05

堀川まつりへの思いや歴史を運営団体代表の川口さんに伺いました！



若月ありさん

堀尾優奈さん

川口正秀さん

学生：ずいぶん見物の方も多くて賑わっていますが、「堀川まつり」は、いつから行われているんですか？

川口さん：第1回目は、1990年6月5日に「熱田天王祭」の名称で実施しました。当時は、まきわら神輿を乗せたまきわら船を浮かべた小規模なものでしたが、その後、まきわら船や大山を復活させ、今に至っています。

学生：もともと大山やまきわら船は、同じ日にやられる出し物だったんですか？

川口さん：実は別々のものでした。千年程前に熱田に疫病が流行った際、疫病退散を願って奉納された山車が、大山の始まりと伝えられています。山車は次第に高くなって、江戸中期には高さ24mで日本一の大山となりましたが、明治になって電線が架けられるようになり、姿を消してしまいました。その後、大山に替わるものとしてまきわら船が浮かべられましたが、昭和48年を最後に陸に上がり、熱田神宮例祭の献灯まきわらとして続けられています。

学生：今は、とてもりっぱなまきわら船と大山がありますが、どう思うで復活させたのでしょうか？

川口さん：まきわら船も、疫病退散の願いの中で生まれたもの。今は環境の時代なので、「堀川を清流にしてください」

との願いも込めて、陸に上がったまきわら船をもう一度、海に浮かべようと思いました。大山の存在は、文献には残っていますが、誰も知らなかった。その昔は、優秀な宮大工が熱田にいたので作れましたが、その後は大き過ぎて作れないものになっていた。今の時代だからこそ、木材では難しい大山が、鉄骨材を使って作れるようになった。この大きさやスケール感を若手に体験してもらって、将来につなげたいと思いました。

学生：川口さんは、若手の育成にもとても力を入れていらっしゃるそうですね？

川口さん：若手の台頭は、嬉しい限りです。実は、「まきわら舟獅子舞保存会」の副会長が、今日の堀川まつりの実行委員長をやってくれています。子どもの頃から祭りに関わることが大切だと思い、子どもたちに笛や太鼓を教えたんですが、その愛弟子の内の一人なんです。彼は、自分が教えてもらったことを、子どもたちに教えたいと活動していて、初めは町内会の中で教えていましたが、町内にこだわらず、もっと広い地域で教えるために保存会を立ち上げました。子どもたちを地域の宝にするために育てる。大人になっても、戻って来てもらうために育てる。堀川ま

つりも、そういう発想から始まったんです。今後は若者たちが、無病息災、堀川浄化、地域の賑わいを取り戻すことを目的とする、この堀川まつりを継承し、さらに大きく育ててくれることを願っています。

学生：今年は、花火も打ち上げられるそうですね。

川口さん：今回の花火は、まさに堀川まつりの集大成とも言えるものです。新しい年号と30周年が偶然にも重なったので、タイミングよくお祝いできることになり、45年ぶりの花火も実現することになりました。どこの町内会でも、みんな懐かしいと喜んでくれているのが嬉しいですね。

学生：今日は、本当に素敵な堀川まつりに参加させていただき、そして貴重なお話をありがとうございました。



日本武尊千八百年祭余興田中町大山執行（大正三年四月十日）写真提供：熱田区役所

NPO法人 堀川まちネット

1990年6月5日に第1回「堀川まつり」を実施し、以後毎年6月の第一土曜日に開催。他にも、地域情報誌の発行、河川清掃や調査、各種イベントの開催など、名古屋、堀川を中心としたまちづくり活動を通して、青少年の育成、河川環境の保全、まちの歴史、文化の継承及び海外との文化交流によるまちの発展を願う特定非営利法人。代表は川口正秀氏。



02



06

- 01 大山**
2010年に復活した大山は、鉄骨材を用いて作られた高さ20メートルにも及ぶ立派なもの。迫力ある曳き回しに、ちびっこたちと一緒に、参加させていただきました。
- 02 まきわら船**
半円球の部分には1年を表す365個の提灯が、その上には縦に12カ月を表す提灯が飾られ、1年間の疫病退散を願って浮かべられています。
- 03 丹羽家住宅(旧旅館屋伊勢久)**
七里の渡し常夜灯から、道を挟んだ向かい側にあるのが、名古屋指定文化財に指定されている「丹羽家住宅」。堀川まつり開催期間中、ゆかりの写真が展示されました。
- 04 猩々(しょうじょう)**
オランウータンに似ていて、顔と足は人に似ているという想像上の動物が猩々(しょうじょう)。お尻を叩かれると無病息災が叶うとの言い伝えから、希望者が続々！

- 05 菓子まき**
大山曳き納め後には、織田信長と熱田の地や熱田神宮、大山との関わりを描いた紙芝居が披露され、その後、大山の上から、盛大に菓子まきが行われました。
- 06 花火**
今年は45年ぶりに、新元号と堀川まつり30周年を祝って、手筒花火が上げられました。

ほりかわこぼなし 大正モダンが輝く納屋橋



竣工直前の納屋橋(鶴舞中央図書館蔵)

優美なアーチを描き、中央にバルコニーのあるどっしりとした鉄骨の欄干、大きな石造りの親柱ときらびやかな鈴蘭灯が特徴の納屋橋ですが、このような姿になったのは大正2年(1913)にまでさかのぼります。明治19年(1886)に名古屋駅が開業し、31年(1898)には笹島と久屋町の間の路面電車が開通して、納屋橋は旧市街地への玄関口になりました。また、40年に名古屋港が開港場に指定され世界に向けた貿易港となると、堀川は43年に完成した新堀川とともに港と市街地を直接結ぶ輸送路としてより一層大切な役割を担うようになりました。そのようななか、明治45年(1912)に納屋橋の改築工事が始まり、陸上交通と



納屋橋と加藤商会ビル

水運の交差する繁華な場所にふさわしい、モダンで風格のある近代的な鋼製アーチ橋が架けられることになりました。欄干には、堀川を開削した福島正則の「中貫十文字」や、郷土の三英雄と呼ばれる、織田信長の「木瓜」、豊臣秀吉の「桐」、徳川家康の「葵」の紋が鑄込まれており、名古屋発展のいずえを築いた先人たちへの設計者の思いを感じることができます。大正モダンが薫る納屋橋も、老朽化と自動車交通の増加により昭和56年(1981)に拡幅して架け替えられることとなりましたが、名古屋の代表的な橋として親しまれてきた納屋橋の濃厚な雰囲気はなくなるとを惜しみ、できるかぎり旧橋の姿を残すことになりました。欄干は以前の橋で使われていたものを補修して再び利用され、今の橋はアーチ部が無くて十分な強度がある構造でしたが、以前の面影を伝えるため再び作り直したアーチが飾りとして付けられました。納屋橋は、平成元年に名古屋市の「都市景観重要建築物等」に指定され、橋の東に建つ登録文化財の「旧加藤商会ビル」とともに、堀川と広小路に歴史と文化の味わいと華を添えています。

出典：名古屋歴史ワンダーランド
http://masaitou.o.oo7.jp/rekisi/index.html
監修：堀川文化探検隊、堀川文化を伝える会